

学校名	熊本大学	個人・グループ名	松本博子	作品名	テレビ台
-----	------	----------	------	-----	------

○製作の動機

初めはパソコンを置いて作業ができるように、床からの高さが低めの文机をつもりで、途中まで作業をしていた。しかしテレビを購入しテレビ台が必要になったことから、途中で用途がテレビ台になった。テレビ台としても、文机としても利用できるよう余計な機能はつけずになるべくシンプルな出来になるよう心がけて製作を行った。



①

○利用方法

- ・テレビ台として
- ・文机として、読書をするときやパソコンで作業をするときなど
- ・フィギュアの飾り場所として

○工夫したポイント

①テレビ台としても文机としても利用できるように至ってシンプルなデザインにし、高さは自分の座高とベッドの高さに合わせ、特にテレビ台として使用するときはベッドで横になりながら楽な姿勢でテレビを見ることができるようにし、さらに机の下にAV機器やゲーム機を収納できるようにしている。また、ほぼヒノキ材やヒノキの集成材にこだわって製作しており、木目や独特の香りで視覚や嗅覚がなんとなくリラックスできるよう工夫した。

②立った時にちょうど机の角に脛が当たる高さでぶつくと危険なので、角は丸く削った。大きいテレビにも対応できるように天板を大きめに設定した。

③数十キロの重さに耐えられるよう、留金を多めに使用し頑丈に仕上げた。

